

# 2015年度>>>2019年度

## 計画の期間

この計画は2015年度(平成27年度)から2019年度(平成31年度)の間で取り組むものです。

# 佐和山学区

※下の活動は、佐和山学区内で取り組まれているさまざまな福祉活動の一例です。

# 住民福祉活動計画

## 子育ての応援



月1回、佐和山小学校の体育館で行われる「子育てサポートライン」や、年2回、東山会館で開催される「子育てひろば」などがあります。

## 地域での交流



歳末に住民同士の交流を目的に開催される「餅つき大会」や、寄せ植え、手作りのお弁当を届ける「友愛訪問」などがあります。

## サロン(居場所)づくり



福祉員さんや健康推進員さんなどを中心に、月1回または2か月に1回の頻度で、地域の住民さんが集まって、おしゃべりなどを楽しむサロン活動があります。

## 登下校時の見守り



毎日、子どもたちが安全に登下校できるよう、雨の日も風の日も、見守り活動をされている大人の方が、学区内におられます。

7<sup>+</sup> 策定までのあゆみ

この計画の指針を作成するために、14名のメンバーで計7回の懇談会を開催しながら、学区内の課題や今後必要と思われる取り組みを話し合ってきました。今後は、この計画の指針に地域の方々の意見を取り入れながら、実際の活動に取り組んでいきます。



# 愛のあるまち佐和山～ふれ愛 助け愛 つなぎ愛～

## テーマに込めた想い

隣近所など地域で暮らす住民同士のつながりが希薄になってきたと言われる今だからこそ、いろいろな愛（「合い」や「会い」の意味も込めています）を大切にしたい。そして、子どもから高齢者、障がいのある人や外国の人だけでなく、「病院に行きたくても、一人では行けない」など、暮らしの中で困りごとを抱えているのに誰にも助けてと言えない人たちのことも、佐和山に暮らすみんながおたがいのことを思いやり、いつでも助け合えるまちを目指したい。そういった想いが、このテーマには込められています。まずは、3つの課題の中から出来ることを見つけて、取り組んでいきましょう。

こん談会であがった

# 声



- ◆高齢者世帯・1人暮らしが増えている
- ◆普段からの付き合いがあるとよいが、声をかけても「ほっといて」と言われると…
- ◆普段から、頼んだり頼まれたりという関係を作らないと、いざというときに助け合えない
- ◆各団体間の連携が不十分
- ◆今後10年ぐらひは子どもも増えるが、いずれは減るといわれており、やはり少子化が問題
- ◆介護や育児、経済的なしんどさなど、困りごとを抱えている人をどう支えていけばよいだろうか
- ◆「ささえあい」というと「高齢者」と思われがちだが、子育て世代、子どもから高齢者まで支えるのが必要
- ◆高齢者は「助けられる」側、成年は「助ける」側の意識を変えよう
- ◆初めは「何してるの？」と言われても、活動を続けているとみんなが関心を持ってくれるようになる

## 3つの課題と取り組み

### 高齢化

地域みんなで「ふれ愛」を大切に、困っている人がいないまちをつくりましょう

- 地域みんながふれ合うことで一人ぼっちの人がいない町をつくりましょう
- 隣近所の小さな困りごと気づき、助け合える関係をつくりましょう
- 誰もが安全に安心して暮らせるまちをつくりましょう

#### 例えば

- ・1人暮らしの方や高齢者のみの世帯を対象にした話し相手や買い物のお手伝いなど



### ボランティア

地域みんなが「得意」を活かして、「助け愛」のあるまちをつくりましょう

- 地域の中で「これなら出来るよ」という人を見つけましょう
- 地域の中の「ちょっと手伝って」という声を見つけましょう
- 緊急時にも生きる隣近所のつながりをつくりましょう

#### 例えば

- ・各町でのボランティア活動者の育成
- ・趣味や特技を活かしたサークルづくり

など



### 組織

地域みんなで力や知恵を出して、「つなぎ愛」のあるまちをつくりましょう

- 地域の中に、いつでも集まれる活動の拠点をとりましょう
- 子どもから高齢者まで、多世代の交流から始め、つながりを大きく広げましょう

#### 例えば

- ・小・中学生と住民との交流
- ・隣町同士で一緒に行事を行う
- ・団体間の情報の共有
- ・多世代のリーダーの養成

など



各地域に合った取り組みを住民のみなさんと一緒に考え、すすめます

## 市内のいろいろな相談場所

市内には、暮らしの中で困っていることや相談したい内容に合った、いろいろな相談場所があります。困っていることや相談したいことがあれば、1人で悩まず、まずはいろいろな場所に相談しましょう。

### ◆高齢者の福祉サービスや生活などの相談は

- 地域包括支援センター「すばる」 【電話】 24-0494 【ファックス】 24-0408
- 彦根市 介護福祉課 【電話】 23-9660 【ファックス】 26-1768
- 彦根市 医療福祉推進課 【電話】 24-0828 【ファックス】 24-8870



### ◆子ども・子育ての保健・福祉サービスや生活などの相談は

- 彦根市 子育て支援課（家庭児童相談室） 【電話】 23-7838
- 彦根市 健康推進課 【電話】 24-0816 【ファックス】 24-5870
- 彦根市 子ども未来室 【電話】 28-1580 【ファックス】 28-3646
- または、お住まいの地域の主任児童委員さんにご相談ください



### ◆障がいのある子・人の福祉サービスや生活などの相談は

- 基幹相談支援センター  
ステップアップ21（障がい児・者全般） 【電話】 35-0008 【ファックス】 35-2123
- 地域生活支援センター まな（主に精神障がい児・者） 【電話】 21-2192 【ファックス】 21-2193
- 相談支援事業所 彦根学園（主に知的障がい児・者） 【電話】 26-7088 【ファックス】 26-7077
- 相談支援センターあおい（障がい者全般） 【電話】 47-6406 【ファックス】 47-6407
- 相談支援事業所 かいぜ寮（主に知的障がい児・者） 【電話】 43-3811 【ファックス】 43-4111
- ぽぽ相談室（主に障がい児） 【電話】 47-5190 【ファックス】 47-5190
- 彦根市 障害福祉課 【電話】 27-9981 【ファックス】 26-1767

### ◆どこに相談すればいいかわからないときは

- 彦根市社会福祉協議会 心配ごと相談 【電話】 22-2821 【ファックス】 22-2841
- または、お住まいの地域の民生委員さんにご相談ください

## 数字で見る佐和山学区の“今”

### 《人口の構成》

（平成27年2月末日現在）

	0～4歳	5～19歳	20～39歳	40～64歳	65歳以上	合計
人数	542人	1,402人	2,363人	3,204人	1,847人	9,358人
構成率	5.8%	15.0%	25.3%	34.2%	19.7%	

※四捨五入の関係上 100%になりません。

出典／彦根市学区別5歳階級別人口統計表

### 《世帯数や高齢化率 等》

（平成27年2月末日現在）

世帯数	3,917世帯	高齢者のみの世帯数	808世帯
高齢化率	19.7%	1人暮らし高齢者数	432人

出典／彦根市

## 佐和山学区住民福祉活動計画（愛のあるまち佐和山～ふれ愛 助け愛 つなぎ愛～）

策 定：佐和山学区住民福祉懇談会

編集・発行：社会福祉法人 彦根市社会福祉協議会

〒522-0041 彦根市平田町 670 彦根市福祉センター別館 1 階

【でんわ】 (0749)22-2821 【ファックス】 (0749)22-2841

【ホームページ】 <http://www.hikone-shakyo.or.jp>